

東海道新幹線新駅対策特別委員会会議録

令和2年6月11日

寒 川 町 議 会

出席委員 岸本委員長、小泉副委員長
中川委員、柳下委員、山田委員、天利委員、吉田委員、黒沢委員
関口議長
欠席委員 なし
説明者 廣田拠点づくり部長、皆川倉見拠点づくり課長、川部主査、小宮主査
事務局職員 新藤議会事務局長、亀井議会事務局次長、波多野主任主事
案 件

1. 新幹線新駅誘致とツインシティ倉見地区まちづくりの経過等について
(拠点まちづくり部倉見拠点づくり課)
2. その他

午前9時00分 開会

【岸本委員長】 それでは、ただいまより東海道新幹線新駅対策特別委員会を開催いたします。
本日の案件は、次第のとおり、その他を含め2件になりますので、よろしくお願いいたします。
それでは、案件1、新幹線新駅誘致とツインシティ倉見地区まちづくりの経過等についての説明を求めます。

廣田拠点づくり部長。

【廣田拠点づくり部長】 おはようございます。それでは、拠点づくり部倉見拠点づくり課より新幹線新駅誘致とツインシティ倉見地区まちづくりの経過等についてご報告させていただきます。説明に当たりましては、皆川課長より行いますので、よろしくお願いいたします。

【岸本委員長】 皆川課長。

【皆川倉見拠点づくり課長】 それでは、前回3月19日の特別委員会以降の経過等につきましてご報告させていただきます。経過については、タブレットの01新幹線新駅誘致とツインシティ倉見地区まちづくりの経過等についてに基づきご報告をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

3月の委員会の際にもご説明いたしましたが、新型コロナウイルス感染症対策に伴い、予定してありました会議・会合等については実施見合せや代替措置等が図られているところでございます。2段目にごございます、地元組織である東海道新幹線新駅誘致地区周辺まちづくり連絡協議会については、4月に役員改選や前年度の決算、新年度予算等の審議が予定されておりましたが、感染拡大防止のため、開催を差し控え、急遽旧年度の幹事の方々にご依頼をし、昨年度の事業報告並びに決算については3月のうちに書面により承認をいただく措置を取らせていただいたものでございます。また、県、平塚市、寒川町の三者によるツインシティ整備調整協議会についても6月2日を提出日として前年度の事業計画決算並びに新年度計画と予算について書面評決を行ったところでございます。

中段以降については、現在新型コロナウイルス感染防止対策等により実施が見合わされている会議・イベント等の対応状況について掲載をしております。

まず、地元関連については、役員の方々からのご心配の声をいただいておりますが、令和2年

度の第1回目となります役員会・幹事会については未定となっており、今後開催していくための前段として役員・幹事の皆様にそれぞれの団体での緊急事態宣言解除後を受けての活動状況や、当協議会出席に当たってのご意見等を伺う準備を進めているところでございます。また、3月に予定していたブロック協議会の仕切り直しも含め、感染症対策に十分配慮し、不安を取り除きながら、早期の活動再開に向けて役員の皆様と取り組んでいきたいと考えております。

次に、期成同盟会をはじめとする県やJRなどの関係機関等との状況につきましては、延期となっている同盟会総会やJR要望についても実施され次第、次回以降の委員会でご報告をしております。

なお、先ほどご説明いたしましたツインシティ整備調整協議会では、今年に入りまして2月以降に予定されていた講演会や各市町でのイベントでの普及啓発が中止となり、費用が繰り越されているほか、今年度に入りましても既にイベントが中止や実施見込みが立たない状況となっております。こうしたことから、自治体のコロナ対策への財政出動の状況も鑑み、今年度の三者による協議会負担金については一定の縮減をしていく方向で現在調整をしているところでございます。

経過の説明は以上となりますが、今年度4月に入りまして神奈川県から県鉄道輸送力増強促進会議での鉄道事業者に対する要望回答が送られてきましたので、JR東海からの新駅要望に関する回答部分について添えさせていただきました。前回はJRよりまちづくりに対する協力姿勢のコメントをいただいたところですが、今回はその回答から変更はございませんでしたので、情報提供としておつけをしております。後ほどごらんいただければと存じます。

以上で報告を終わります。よろしくお願いいたします。

【岸本委員長】 説明が終わりました。質疑のある方は挙手にてお願いいたします。

柳下委員。

【柳下委員】 要望内容のところで、ツインシティの件なんですけれども、平塚は68.8ヘクタールのうちもう造成が約8割進んでいるということが書かれてあります。それに対して寒川町はまちづくりの検討を深化させるという、この検討を深化ということで、具体的にどういうことを深化させたら、この寒川の倉見地区のまちづくりが進むと考えているのか。

それと、もう1つそれに付随して、推進するに当たっての一番の要因は何なのか、それと、努めているところに書かれていますが、具体的にどのようなご努力を今なされているのでしょうか。

【岸本委員長】 皆川課長。

【皆川倉見拠点づくり課長】 1点目の要望書の中の計画の深度化というところでなんですけれども、当然現在進めておりますまちづくりを推進していくことによりまして、今までずっとこちらでもご説明しております、まちづくり計画に向けて進めていくプロセス全てにおいて熟度を上げることによって計画の中身を充実させていく、それを深度化という形で書かせていただいているところでございます。

どうしたら推進できるのかというふうなところのお問合せだと思いますけれども、当然やはり地元の皆さんとお話しをしながら情報交換して、意見を吸い上げながら、できるところのすり合わせをしていくという中でまちづくりの計画案を練っていくんですけども、まずは63ヘクタールの全体の最大検討区域の中で24ヘクタールをどのようにしていくかということを地元の皆さんと話し合っていく、今現在も取組自体が推進の手段・手法というところになると思います。よろしくお願いいたします。

【岸本委員長】 柳下委員。

【柳下委員】 とても抽象的な言葉で、実感として町民、私たちも、私もそうなんですか、伝わってこないで、再度お伺いいたしますが、じゃ、その熟度を上げる、その計画の熟度を上げることが深化ということにつながるということを申されましたけど、この熟度が阻害する要因は一体何なのか、なかなか見えない、その熟度を阻害する要因は何だと捉えているのかということが1つ。

それと、もう24ヘクタールの、前から言ったその計画そのものの具体的なものがより進んでいるのかどうか、その2点についてお伺いいたします。

【岸本委員長】 皆川課長。

【皆川倉見拠点づくり課長】 まず、まちづくりを進めていくために当たっての阻害要因というところなんですけども、当然地元とお話をしている中で、新駅があつての、新駅を前提としたまちづくりになっておりますので、やはりいろいろな情報の、お伝えしている情報の中でも、新駅の設置についてまだ確定的なことではなく、それから、また、検討段階には入っていないというところの状況から、地元の方々がその辺を気にしていらっしゃるというところが1つと、あと、私どものサイドで言えば、やはりまちづくりをしていくに当たっての事業費、それと、また、新駅を誘致、新駅が決定したとしても、その駅設置費についてまだ県の同盟会の中でもそういった負担の議論もされていないような状況ですので、どこまで事業費が増えていくのかというところの懸念がありますので、そういった部分がある程度進めていながらやっていかなきゃいけないという難しさが要因かと思っております。

それから、具体的に進んでいくためにはというところなんですけども、進んでいるのかというところなんですけども、やはり今までなかなか地元の皆さんと会話がうまくすり合っていなかった部分があるんですけども、昨年、一昨年から新しい体制の下で地元の協議会が進んでおりますので、ようやくブロックごと、細かいグループでの話し合いをする機会を進めていくという準備までできたところまではよかったというところで、先ほどの説明のとおり、昨今の事情でなかなかそれがうまくいかないというところで我々担当課としてももがいているというところでございます。

以上です。

【岸本委員長】 柳下委員。

【柳下委員】 とても努力をしていると言っても、何かあまり代わり映えのない報告がずっと続いていると私は感じ取れます。

それで、今健在で何に行政は努めているのか、どういう課題に向かってこの新駅設置のためにご努力なさっているのか、具体的な動きについてお知らせください。

【岸本委員長】 皆川倉見拠点づくり課長。

【皆川倉見拠点づくり課長】 当然地元の皆さんと話をしていく上でのベースとなりますまちづくりの素案、行政案については県と調整を図りながら進めているところと、あと、また、スケジュール感についても県とすり合わせをしながら行っているところで、ある程度関係機関との調整を取りながら地元の皆さんに伝えていきたいというところでございます。

以上です。

【岸本委員長】 他にございますか。

中川委員。

【中川委員】 すいません。先ほど課長からのご説明の中で同盟会の総会とかＪＲの要望とかもコロナの関係で延期しているというふうなこともあって、今後そういったことができれば報告していただくとか、あるいはＪＲ東海から示された新駅周辺のまちづくりも含めての回答には今のところ変化がないというふうな、そうした答えであったかというふうに思うんですが、これは質問というよりは何か要望的な感じになっちゃうかもしれないんですが、今回の新型コロナの関係もあって、ＪＲ東海も営業収益の主力である東海道新幹線の利用者が９割以上減ってしまったというふうなところの中で、ＪＲ東海の収益の相当大部分を占めるところにかなりの打撃が及んだというところも事実としてあるかと思います。

その意味では今後の、例えば中央新幹線の建設だとか、こちらにもいろんな影響を及ぼしてくるという可能性はあり得るのかなと思いますので、ＪＲへの要望だとか、そういった機会などを捉えて、そうした新型コロナの影響というのがさらに中央新幹線などにもどのように影響を及んでくるとか、そういったことの情報収集に努めていただきたいなと。そうしたことも今後のツインシティのまちづくりとかとも影響してくる可能性は否めないかなと思いますが、質問というよりも要望的な話になってしまうかもしれませんが、見解があればお願いいたします。

【岸本委員長】 皆川倉見拠点づくり課長。

【皆川倉見拠点づくり課長】 ＪＲ東海、東海道新幹線につきましては４月・５月の乗車率が１０％を切るという状況で、６月に入りまして２０％ぐらい持ち直しているという情報はいただいているんですけども、やはり今厳しい状況かとは思われます。

ただ、これについて、収益についてのＪＲさんからのコメントというのは今のところ私どもは聞いておりません。

また、委員がおっしゃられたような今後の情報につきましては、今先送りになっておりますＪＲ要望、首長等が参りますＪＲ要望と併せて、我々のほうでも、ＪＲ担当者との挨拶というのも今まだ先送りになっているんですけども、そういった部分が実施され次第、情報交換をしながら、なおかつ、同盟会の事務局の県からもいろいろな情報をいただけるような形で進めてまいりたいと思います。ありがとうございます。

【岸本委員長】 中川委員。

【中川委員】 今回いろんな意味で予想外の出来事でもあったので、ＪＲ東海としてもなかなか今後の収益の面も含めた見通しも立ちにくいところあるでしょうし、向こうとしても、ある意味、そういうのは答えづらいというところもあるのかなと思いますが、いろんな形でできる限り情報を引き出すといえますか、そうしたように努められるように要望したいと思います。要望で結構でございます。

【岸本委員長】 要望で。はい。

【中川委員】 以上です。

【岸本委員長】 かしこまりました。

他にございますか。

黒沢委員。

【黒沢委員】 要望に対してのＪＲの回答なんですけど、この回答は口頭での、何と言うのかな、や

り取りをまとめたものなのか、書面でいただいた回答なのか、確認をお願いしたいと思います。

【岸本委員長】 皆川倉見拠点づくり課長。

【皆川倉見拠点づくり課長】 県鉄の回答につきましては、こちらは書面回答になります。

ただ、この会議は、昨年11月に総会を開きまして、これが直接鉄道事業者に各路線の部会長というのが、各市町で構成されておるところの長が直接お渡しするということで、そういったセレモニーをすると、年度末になって文書で返ってくるというサイクルを受けております。ちなみに、すいません、この県鉄の会合につきましては、都市計画課が交通施策の立場で担当しておりますので、よろしくお願いします。

【岸本委員長】 黒沢委員。

【黒沢委員】 ということは、ちゃんとＪＲとしてもしっかりとそれが残るということ前提で回答してきたということですよ。それを見ると、全然やる気がなかったら、多分下から6行目の「新駅設置の可否については検討できる段階ではありません」までで多分いいんですよ、多分。

ただ、その後に、要は、新駅の設置可否についての判断の時期ではないけれども、新駅周辺のまちづくりの検討に当たり助言等を求めるよう協力していきますよというふうに言ってくれていると。それで、町としては今後こういったところと、こういう機関としっかり話合いをして今後のまちづくりの参考にしていくということで、その動き出しをしてきているわけですよ。

さらに、その下に可否の方法まで言ってくれているじゃないですか、ＪＲは。要は、助言だけでなく、可否、要は駅設置するかどうかの判断については、乗客の需要見込み、それは多分もう今出しても駄目なものなのか、ＪＲが考え始めてもうちょっと直近の数字としてデータとして欲しいのかなとは思いますが、とはいえ、それを裏づける周辺地区における都市形成の状況を十分検証しますよと言っているわけですよ。

寒川町におけるまちづくりの図というのは、これから具体的な図が作られていくとはいえ、県の事業としてツインシティ計画というのがあるわけじゃないですか。県だって、これ、いいかげんな計画を立てたわけではなくて、当然駅を呼び込むための、要は計画として立てているわけだから、当然ＪＲもそれを知っていて、こういう答えを出してきているということですよ。で、その中でそれを裏づける周辺地区における都市形成の状況などを十分と、それを裏づける周辺地区における都市形成の状況というのを町としては、町の責任としてはどこまでやっていかなきゃいけないのか、どういう状況を作ることによって県の計画であるツインシティ計画と併せてＪＲの可否判断に直接つながっていくというふうな考えを持っているのか、お聞かせいただけますか。

【岸本委員長】 皆川課長。

【皆川倉見拠点づくり課長】 回答にございます新駅まちづくりの検討に当たり助言を求められれば協力をしていくという話につきましては前々回の回答から入ってきたということで、同盟会としても大変好材料という話とともに、昨年から地元の方々にもお伝えしている中でやはり地元の方々はこちらについては光が見えてきたなというところの話として地元でも好意的に受けられているところでございます。当然回答は今までと同じなんですけども、設置に当たっての条件としては需要見込みと周辺の都市状況というところでございます。当然ある程度乗っていただかないと採算が取れないということでＪ

Rさんはこういったコメントされているところでございますけれども、都市形成につきましては、当然いろんな解釈あるんですけども、どの新駅、請願駅の条件に当たってもやはりまちづくりについてJRさんはいろいろ発言してきているところでございます。

ツインシティの中では当然周辺、平塚あるいは厚木、藤沢、いろんなまちづくりを進める中で、全体的な都市形成というふうな捉え方の中で寒川において言わせていただくと、寒川については当然まちづくりを進めていくプロセスの中で、新駅が決定しないと都市計画決定ができませんので、都市計画をする前段までの図面、いろんな都市計画に必要な要素の書類関係と地元合意、こういった部分を必要とするというところで、これに向かって都市形成のお膳立てといいますか、もうこれで駅が決定すれば、手続踏めるんですよといった状況まで持っていくことが寒川にとっての要素だと考えております。

以上です。

【岸本委員長】 黒沢委員。

【黒沢委員】 現実には駅設置を決めていただかない限り、町としてはまちづくりに着手というのはできないわけですね、現実的に。だから、これから様々JRとまちづくりの検討に当たっての助言等を求めていくわけなんですけど、当然その部分についてはJRも承知しているわけですね。だから、しっかりとまちづくりができるよという担保まで町としては作れば、JRとしては大丈夫ですよというか、そういうことなんだよというところをしっかりとJRとの話の中で捉えていつていただきたいなと思うんですよ。そういうことも含めてのこれからの話合いというふうに理解してよろしいでしょうか。

【岸本委員長】 皆川倉見拠点づくり課長。

【皆川倉見拠点づくり課長】 このJRのコメントを受けまして昨年の12月、前のご報告しておりますけれども、実際は担当者レベルのお話合いといいますか、協議とは言えないんですけども、情報交換を始めたというところでございます。そういったやり取りの中では、当然駅設置を視野に置いた議論をさせていただいておると理解しておりますので、そういった部分で情報をお互いにすり合わせながらこちらの思いを伝えて、JR東海さんからもある程度、決定的なお話はなかなか難しいところなんですけれども、やはり判断をしていただく時期に近づくにつれてのいろんな言葉の変化等していただくような形で進めていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

【岸本委員長】 他にございますか。

それでは、質疑なしと認めます。ご苦労さまでございました。

暫時休憩いたします。

【岸本委員長】 休憩を解いて会議を再開いたします。

続きまして、案件2、その他でございますが、皆様から何かございますか。

事務局から何かございますか。

(「ございません」の声あり)

【岸本委員長】 それでは、本日示された案件が全て終了しました。

これもちまして委員会を終了いたします。

最後に、副委員長から一言お願いいたします。

【小泉副委員長】 それでは、本日も皆さん、大変ご苦勞さまでございました。今年度この新型コロナウイルスの関係もありまして、残念ながらこの新駅のための積立金も今年度に関しては凍結というような判断にもなりましたが、引き続き未来の、この寒川の、創るために、大変重要な委員会となりますので、皆様のご協力のほう、よろしくお願いいたします。

それでは、これをもちまして本日の東海道新幹線新駅対策特別委員会終了とさせていただきます。ご苦勞さまでございました。

午前9時25分 閉会

寒川町議会委員会条例第27条の規定により、ここに署名する。

令和2年8月27日

委員長 岸 本 優